



▼表彰式に出席された、井上さん(写真左)・佐治さん(中央)・山本さん(右)



統計調査員が大臣表彰を受賞 正確かつ適切な調査活動が認められる

11月24日に、高知県下で功績のあった統計調査員の表彰式が行われました。四万十町からは、井上義之さん(宮内)・國本富紀さん(口神ノ川)・山本道雄さん(平野)が農林水産大臣表彰を、佐治光廣さん(黒石)が経済産業大臣表彰を受賞されました。全員、長年にわたり統計調査にご協力いただき、令和元年度実施の農林業センサス(農林水産省)・構造統計(経済産業省)における正確かつ適切な調査活動が認められ、受賞の運びとなりました。

▼無手無冠代表 山本勘介さんと四万十町分区長 中尾町長



日本赤十字社高知県支部長から 無手無冠へ感謝状贈呈 赤十字事業の進展に貢献

日本赤十字社高知県支部長より株式会社無手無冠が感謝状を授与され、11月19日に日本赤十字社高知県支部高幡地区四万十町分区長の中尾博憲町長より伝達されました。株式会社無手無冠は、長年にわたり日本赤十字社高知県支部に対し活動資金を寄付され、赤十字事業の進展に貢献されたとして、今回の感謝状が贈呈されました。

走る旅!! 第13回 四万十川 桜マラソン四国4県限定 大会開催!!



お問い合わせ先
四万十川桜マラソン大会実行委員会事務局
(NPO法人くぼかわスポーツクラブ)
☎24-1177
(10:00~18:00)※定休日:月曜日

2020年度読書感想画 ・読書郵便作品展

美術館を飛び出して開催!小中学生の応募作品を学校地区により、窪川・大正・十和の3つの地区で展示します。

- 窪川地区
▶日時:1月27日(水)~2月15日(月)
▶場所:役場東庁舎ロビー
- 大正・十和地区
▶日時:1月27日(水)~2月4日(木)
▶場所:四万十町立図書館大正分館
- ▶日時:2月6日(土)~2月15日(月)
▶場所:十和地域振興局
- お問い合わせ先
四万十町立美術館 ☎22-5000

年末年始のお知らせ

★年末年始のお休み
12月28日(月)~1月4日(月)
新年は1月5日(火)から開館します!
返却ポストへどうぞ!
年末年始の休館中も、返却ポストはご利用できます。

年末年始キャンペーン

お正月休み、読書を楽しみませんか?
下記の期間のみ、貸出冊数が無制限になります!
★期間:12月15日(火)~27日(日)

- ▶開催日:3月28日(日)9:00スタート
- ▶参加料:7,000円
- ▶申込期間:1月20日(水)まで
※定員になり次第、締め切ります
- ▶申込方法:インターネット
- ▶定員:1,500名
- ▶参加資格
①四国4県在住の方
②18歳以上でマラソン(42.195km)を完走できる健康な方
※高校生は参加できません
- ▶部門
男子:18歳~29歳の部、30歳~49歳の部、50歳以上の部
女子:18歳~49歳の部、50歳以上の部
- ▶表彰:男女総合6位まで表彰、各部門3位まで表彰
特別賞として四万十賞(410位)、70歳以上の3位まで表彰
- ▶制限時間
6時間(最終ウェーブスタートから)
- ▶その他
①四国4県限定での開催が不可能と判断した場合は、オンライン大会に移行して開催します。
※詳細については、四万十川桜マラソン大会HPでご確認ください。

四万十川桜マラソン大会HPは
こちらから▶



②新型コロナウイルス感染予防対策を講じての大会開催となるため、従来とは変わった大会運営になりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

HANPEI CHRISTMAS



~ステンドグラスと
アイシングクッキーで彩る~
半平のクリスマス展示が行われます
▶日時:12月5日(土)~20日(日)
9:00~15:00

アイシングクッキー

▶日時:期間中の土日の午前中
▶参加人数:1日10名※要予約
▶参加費:500円

ステンドグラスのワークショップ

クリスマスツリーランプ作り
▶日時:12月20日(日)
10:00~11:30
▶参加人数:1日10名※要予約
▶参加費:3,000円 ※ドリンク付き

■予約・お問い合わせ先
古民家カフェ半平 ☎050-8807-5075

世界のヤイロチョウ 写真展

世界各地を飛びまわり、ヤイロチョウをの写真を撮影している松村伸夫氏の写真展。松村氏をお招きしてトークショーも行われます。

〈松村伸夫氏のトークショー〉
日時:12月26日(土)
15:00~16:00

▶日時:~12月26日(土)まで
10:00~15:00
▶場所:四万十ヤイロチョウの森
ネイチャーセンター
▶休館日:毎週水・木曜日
▶入館券金:300円(20歳未満除く)

■お問い合わせ先
(公社)生態系トラスト協会
☎050-8800-2816

90秒で読めちゃう連載防災コーナー!

連載第8回

有備無患

ゆうびむかん

女性のチカラを避難所運営に!

長期化する避難所での生活においては、多様な視点が欠かせません。特に避難所生活においても女性への期待は、年々大きくなっています。消火活動や救助活動は男性中心になりがちですが、避難所運営には女性が活躍できる機会や可能性がたくさんあります。

求ム!

こんな資格や経験をお持ちの方

- 保育士
- 看護師
- 介護福祉士
- 教師

地域の防災活動にぜひ、
ご参加ください!

二次避難所ごとに避難所開設訓練を実施しています。長い避難所生活を乗り切るため、日頃から地域のみなさんと訓練を重ね、避難所生活をイメージしながら準備をしていきましょう。

こんな場面に女性のチカラが必要です。

物資の配布+女性

女性用品が救援物資で届いた際、男性からはもらいにくかったり、不足時に要望しづらいものです。避難所運営の物資担当は女性も担うと◎

こどものお世話+女性

被災した家の片付けなど復旧作業の際に、子どもの面倒を見てほしいというニーズも多いです。育児経験のある女性を中心に、地域のみなさんと子どものお世話をしましょう。

高齢者のお世話+女性

救援物資で届くオムツのサイズや、どんなモノが介助に必要か、またお世話をするにあたっての手順等、経験や知識がある女性が大活躍!

衛生的で安全な避難所+女性

間仕切りや授乳室、男女別の更衣室、物干し場など、プライバシーの確保や、安全で快適な空間をつくるには、女性の視点は欠かせません。

次回